

【                      】	
氏名	長 谷 川 幸 清
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第                      号
学位授与の日付	平成16年3月25日
学位授与の要件	医学研究科外科系産科婦人科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	A-KINASE ANCHORING PROTEIN 3 MESSENGER RNA EXPRESSION IN OVARIAN CANCER AND ITS IMPLICATION ON PROGNOSIS (卵巢癌におけるAKAP 3mRNAの発現と予後との関連)
論文審査委員	教授 公文 裕巳 教授 清水 憲二 教授 保田 立二

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

A-kinase anchoring protein 3 (AKAP3)は精子タンパクの一種で、その発現は正常組織では精巣に限られている。これまでに我々はある種の精子タンパクが癌組織で高い頻度で強発現することを報告した。また最近 AKAP は cAMP 依存性 protein kinase A(PKA)の作用を促進し細胞増殖を抑えることが報告されている。今回我々は卵巢癌における AKAP3 の発現を検討し、予後との関連を解析した。AKAP3 の発現は遺伝子特異的プライマーを用い RT-PCR 法により検討した。また定量は PCR 増幅産物をマイクロチップを利用したキャピラリー電気泳動にて行った。その結果 AKAP3 mRNA は低分化型卵巢癌において高頻度に発現していることが明らかになった。さらに予後解析において AKAP3 mRNA を発現した低分化型卵巢癌患者群は発現していない群に比較し予後良好であることがわかった。多変量解析においても AKAP3 mRNA の発現は低分化型卵巢癌において独立した予後因子となった。

#### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、精子タンパクの一種である A-kinase anchoring protein 3 (AKAP3)の卵巢癌における発現と予後との関係を検討したものである。その結果 AKAP3 mRNA は低分化型卵巢癌に高頻度に発現するものの、発現した群が発現していない群と比較して予後が良好であることをはじめて明らかにした価値ある業績と判断される。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。